



添い遂げる覚悟の街づくり

相互物産株式会社 
<https://sbkg.jp>

相互物産グループ

東京中央都市開発株式会社／ホテル東京ベイ株式会社
東京ベイリゾート開発株式会社／相互物産パブリックリレーションズ株式会社
欧州相互物産株式会社／米州相互物産株式会社
相互物産ファシリティーズ株式会社／株式会社デルマール



都心から30分の
アーバンリゾート

潮風が吹く緑豊かな舞浜・浦安エリア

東京ディズニー
リゾート®行き

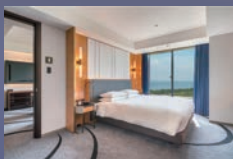
無料シャトルバス

ご用意しております。



ハイアットリージェンシー 東京ベイ
hyattregencytokyobay.jp/top
TEL 047-305-1234

〒279-0014 千葉県浦安市明海5-8-23
東京駅よりJR京葉線で新浦安駅まで約20分
新浦安駅から路線バスで約10分



相互物産 Presents ハイアットリージェンシー 東京ベイ

NEW CLASSIC *by*
4 Conductors

4人の
指揮者による
ニュークラシック
プロジェクト

New Classic Project



藤岡幸夫

山田和樹

原田慶太楼

鈴木優人

～受賞作品世界初演コンサート～

2023年5月15日(月)19:00 東京オペラシティ コンサートホール

7:00p.m., Monday, May 15, 2023 at Tokyo Opera City Concert Hall

特別協賛プレミアム:



相互物産株式会社

主催

日本コロムビア ジャパン・アーツ
(一社)東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

特別協賛:



医療法人 葵鐘会

New Classic by 4 Conductors

～ オーケストラの新作を生み出す場を創る「ニュークラシックプロジェクト」コンサート開催にあたって～

指揮活動において現代に生きる作曲家達と共に新しい音楽を発表する場を作り、その作品を繰り返し演奏することはとても大切なことです。

ベートーヴェンが今でも愛されているように、200年後にも多くの人に愛され続ける僕らの時代のオーケストラ曲を日本から生み出したいという思いで、私たち四人はこの《ニュークラシックプロジェクト》を立ち上げました。

『定期演奏会などで取り上げられ、繰り返し演奏されることを目指すオーケストラ作品を広く募集します。』— 昨年4月に多くの作曲家と出会えることを心待ちにして作品を募集しましたところ、44作もの応募をいただきました。応募者は現役の音大生から既にプロとして活動している作曲家まで多彩な顔ぶれで、全ての作品に作曲家の個性がとて良く表現されていて、それぞれが魅力的な作品でした。作品をお寄せくださいましたすべての作曲家の皆さまに、心からの敬意と感謝を申し上げます。

1月の譜面審査と話し合いを経て今日みなさまにお聴きいただきますのは、何度も再演される可能性を秘めた、我々四人が演奏したいと選んだ作品です。今日の演奏は録音され日本コロムビアがDENONレーベルからCDを発売、全音楽譜出版社が楽譜管理と楽譜出版、ユニバーサルエディション社(オーストリア)のオンライン楽譜提供サービス“scodo”を通じた全世界でのスコア閲覧と販売、BSテレ東『エンター・ザ・ミュージック』(毎週土曜朝8:30)での収録が、すでに決定しています。そして我々四人が積極的に紹介していくことで、その普及を後押しします。

プロジェクトの趣旨にご賛同をいただき作品を応募くださった皆様、ご協賛をいただきました相互物産株式会社様と医療法人葵鐘会様、アーティストサポートにご支援をお寄せくださいました皆様、このプロジェクトを推進してくださいましたすべての皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。新しい音楽が生まれていくこの現場を温かい目で見つめていただけたら、これ以上に嬉しいことはありません。



《アーティストサポートにご支援をいただきました皆さま(敬称略)》



浅岡 尚子	篠崎 啓史	長谷部 宏行	松下 泰之(マティピ)
上原 啓子	I.S	T.H	S.Y
K.K	T.S	林 路郎	
久保 千聖	トゥルラブ真智子	細沼 康子	
雲然 祥子	トゥルラブ真凛	牧野 佳那	[匿名希望:13名]

※2023年5月8日現在/五十音順/匿名希望の方は記載しておりません

ご支援についての詳しい内容は、どうぞ下記へお問い合わせください。

株式会社ジャパン・アーツ アーティストサポート係 Tel.03-3499-7720 (平日11:00~17:00 休日と年末年始を除く)

《プロジェクト・サポーター》

全音楽譜出版社 <https://www.zen-on.co.jp/>
楽譜問合せ先: 出版部C&R課 レンタル楽譜担当 hirelibrary@zen-on.co.jp
〒161-0034東京都新宿区上落合2-13-3 TEL 03-3227-6283

ユニバーサルエディション社(オーストリア)
<https://www.universaledition.com/>
SCODO <https://www.universaledition.com/scodo>

NEW CLASSIC *by 4 Conductors*

PROGRAM

城代悠子: 《IKUSA》 (約10分)

Yuko KINOSHIRO: IKUSA

指揮: 原田慶太楼 Conductor: Keitaro HARADA

山田竜雅: 《祈り》～女声と管弦楽のための～ (約15分)

Ryuga YAMADA: "Prayer" for Soprano Solo and Orchestra

指揮: 山田和樹 Conductor: Kazuki YAMADA

ソプラノ: 安江陽奈子 Soprano: Hinako YASUE

—— 休憩 20分 Intermission 20min. ——

4人の指揮者によるスペシャルトーク

Special Talk by 4 Conductors

松井琉成: 交響詩《うつしがたり〈翠〉》 (約12分)

Ryusei MATSUI: Symphonic Poem "The Mirror - Sui's Story"

指揮: 藤岡幸夫 Conductor: Sachio FUJIOKA

萩森英明: 《東京夜想曲》 (約11分)

Hideaki HAGINOMORI: Tokyo Nocturne

指揮: 鈴木優人 Conductor: Masato SUZUKI

管弦楽(合同演奏):

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、愛知室内オーケストラ

Joint Performance by Tokyo City Philharmonic Orchestra and Aichi Chamber Orchestra

主催: 日本コロムビア ジャパン・アーツ 一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

プロジェクト・サポーター: 全音楽譜出版社 ユニバーサルエディション社(オーストリア)

特別協賛プレミアム: 相互物産株式会社

特別協賛: 医療法人 葵鐘会



©MASATOSHI YAMASHIRO

原田慶太楼
KEITARO HARADA

アメリカ、ヨーロッパ、アジアを中心に目覚ましい活躍を続けている期待の俊英。東京交響楽団正指揮者。シンシナティ交響楽団およびシンシナティ・ポップス・オーケストラ、アリゾナ・オペラ、リッチモンド交響楽団のアソシエイト・コンダクターを経て、2020年シーズンからアメリカジョージア州サヴァンナ・フィルハーモニックの音楽&芸術監督に就任。ヒューストン、インディアナポリス、NHK響、メンフィス、ルイジアナ、読売日本響、東京都響、ツーツン、フェニックス等のオーケストラと共演。オペラ指揮者としてもアリゾナ、シンシナティ、ブルガリア国立歌劇場、ノースカロライナなどで活躍。

1985年東京生まれ。インターロックン芸術高校音楽科において、指揮をフレデリック・フェネルに師事。2009年、ロリン・マゼール主催の音楽祭「キャットソルトン・フェスティバル」にマゼール氏本人の招待を受けて参加。2010年タングルウッド音楽祭で小澤征爾フェロー賞、2013年ブルーノ・ワルター指揮者プレビュー賞、米国ショルティ財団キャリア支援賞6度、2023年には日本人初となるトップのコンダクター賞を受賞。2010年には音楽監督ジェームズ・レヴァインの招聘を受けてタングルウッド音楽祭に参加、2011年には芸術監督ファビオ・ルイジの招聘によりPMFにも参加。これまでに、ロバート・スパノ、マイケル・ティルソン・トーマス、オリバー・ナッセン、ヘルベルト・ブロムシュテット、ステファン・アズベリーなどに師事。

第29回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第20回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。

オフィシャル・ホームページ: kharada.com/ @Khconductor



©Yoshinori Tsun

山田和樹
KAZUKI YAMADA

2009年第51回ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。ほどなくBBC交響楽団を指揮してヨーロッパ・デビュー。同年ミシェル・プラッソンの代役でバリ管弦楽団を指揮して以来、破竹の勢いで活躍の場を広げている。2012年～2018年スイス・ロマンド管弦楽団の首席客演指揮者、2016/17シーズンからモンテカルロ・フィル芸術監督兼音楽監督、2023年4月からバーミンガム市交響楽団の首席指揮者兼アーティストティックアドバイザーに就任。日本では読売日本交響楽団首席客演指揮者、東京混声合唱団音楽監督兼理事長、学生時代に創設した横浜シンフォニエッタの音楽監督としても活動している。

東京藝術大学指揮科で松尾葉子・小林研一郎の両氏に師事。出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、実行委員会代表を務めた『柴田南雄生誕100年・没後20年記念演奏会』が平成28年(2016年)度文化庁芸術祭大賞、日本フィルハーモニー交響楽団と3年に亘り行った『山田和樹マラー・ツィクルス』が第67回(2017年)芸術選奨文部科学大臣新人賞など受賞多数。2022年には、モナコ公国からシュバリエ文化功労勲章を受賞。

多くのCDを発表するとともに、著述に『「超」音楽対談 オーケストラに未来はあるか』(対談・アルテスパブリッシング刊)、『「自由」の危機 一息苦しさの正体』(論考集・集英社新書)などがある。本質に迫るとともにファンタジーあふれる音楽づくり、演奏家たちと一体になって奏でるサウンドは、音楽の喜びと真髄を客席と共有し熱狂の渦に巻き込む。名実ともに日本を代表する人気マエストロである。

公式twitter @yamakazu_takt



©Shun Yamagishi

藤岡幸夫
SACHIO FUJIOKA

故・渡邊暁雄の最後の愛弟子。サー・ゲオルグ・ショルティのアシスタントを務める。

英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。1992年最も才能あるEU加盟国の若手指揮者に贈られる「サー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞」を特例で受賞。1994年ロンドン「プロムス」にBBCフィルを指揮してデビュー以降、数多くの海外オーケストラに客演。オペラでも2006年スペイン国立オヴィエド歌劇場プリテン「ねじの回転」がその年の同劇場新演出オペラの年間ベスト・パフォーマンスに選ばれると、2009年にはR.シュトラウス「ナクソス島のアリアドネ」で再び脚光を浴びた。

マンチェスター室内管弦楽団、日本フィルを経て、現在関西フィル首席指揮者と東京シティ・フィル首席客演指揮者を務める。毎年40公演以上を共演し2023年に24年目のシーズンを迎えた関西フィルとの一体感溢れる演奏は常に高い評価を得、2019年の就任直後から展開している東京シティ・フィルとの特徴ある活動は毎回大きな注目を集めている。

英シャンドスからBBCフィルとのCDを8枚、関西フィルとのシベリウス交響曲全集を2021年9月ALM RECORDSからリリース。著書『音楽は好きですか?』『続・音楽は好きですか?』を敬文舎から刊行。テレビ、ラジオへの出演も多く、番組の立ち上げに参画し指揮・司会として関西フィルと共に出演中のBSテレ東「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜朝8:30)は2022年10月で9年目に突入、放送450回に迫る人気番組。

2002年渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。

公式ファンサイト <http://www.fujioka-sachio.com/>



©Marco Borggreve

鈴木優人
MASATO SUZUKI

東京藝術大学卒業及び同大学院修了。オランダ・ハーグ王立音楽院修了。令和2年度(第71回)芸術選奨文部科学大臣新人賞、第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第18回ホテルオークラ音楽賞、第29回(2021年度)渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。バッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)首席指揮者、読売日本交響楽団指揮者/クリエイティブ・パートナー、アンサンブル・ジェネシス音楽監督。2023年4月より関西フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者に就任。

指揮者としてNHK交響楽団、読売日本交響楽団等と共演するほか、2022年4月にはドイツ・ハンブルク交響楽団に客演。鈴木優人プロデュース・BCJオペラシリーズ、モンテヴェルディ: 歌劇《ポッペアの戴冠》(2017)、ヘンデル: 歌劇《リナルド》(2020)ではバロック・オペラの新機軸として高く評価され、後者は第19回佐川吉男音楽賞を受賞。2022年5月のグルック: 歌劇《オルフェオとエウリディーチェ》(勅使川原三郎新演出)で新国立劇場に指揮者として初登場。NHK-FM「古楽の楽しみ」にレギュラー出演するほか、テレビ朝日系列「題名のない音楽会」などメディア出演も多い。

録音はBCJとのJ.S. バッハのチェンバロ協奏曲集(BIS)、アントワン・タメスティとのデュオ(Harmonia Mundi)など多数。調布国際音楽祭エグゼクティブ・プロデューサー。作曲、編曲はもとより、バッハの消失楽章の復元も多数手がける。ブルーノート東京にも定期的に出演するなど、その活動に垣根はなく、各方面から大きな期待が寄せられている。九州大学客員教授。

Twitter / @eugenesusuki Facebook & Instagram / masatosuzukimusic

安江陽奈子(ソプラノ) HINAKO YASUE, SOPRANO



大阪音楽大学声楽専攻卒業、卒業時に優秀賞を受賞し卒業演奏会に出演。同大学院声楽研究室オペラ系修了。平成30年(2018年)度公益財団法人青山音楽財団奨学生。第7回あおよし音楽コンクールプロフェッショナルステージ第3位受賞。第74回全日本学生音楽コンクール大学の部大阪大会奨励賞受賞。在学中、学内オペラ公演にて『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ役、『フィガロの結婚』スザンナ役、『秘密の結婚』エリゼット役、『連隊の娘』マリー役で出演。また卒業後、『コジ・ファン・トゥッテ』デスピーナ役、『魔笛』パパゲーナ役でオペラに出演。ジョン・ラター：マニフィカートのソプラノソロも務める。大阪音楽大学演奏員。堺シティオペラ会員。石橋栄実氏に師事。

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 TOKYO CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA

1975年設立。現在、常任指揮者に高関健、首席客演指揮者に藤岡幸夫、桂冠名誉指揮者に飯守泰次郎を擁する。年間100回を超える公演は、定期演奏会のほかオペラ、バレエ、テレビ出演、CD録音、音楽鑑賞教室まで多岐にわたる。1994年から東京都江東区と芸術提携を結び、ティアラこうとうを主な拠点としてティアラこうとう定期演奏会をはじめとする各種コンサートや公開リハーサル、楽器の公開レッスン、区内小学校へのアウトリーチ活動など、地域に根ざした音楽文化の振興を目的に幅広い活動を行っている。2015年4月、楽団創立40周年を迎え第4代常任指揮者に高関健が就任。2021年5月には桂冠名誉指揮者飯守泰次郎の傘寿記念として「ニーベルングの指環」ハイライト特別演奏会(演奏会形式)を開催。コロナ禍での開催ながら、海外から世界最高峰のワグナー歌手陣を招き大成功を収め、2022年8月に第30回三菱UFJ信託音楽賞を受賞。



愛知室内オーケストラ AICHI CHAMBER ORCHESTRA

2002年愛知県立芸術大学出身の若手演奏家を中心として発足。現在は、国内外で研鑽を積んだ東海地方で活躍する演奏家で構成されている。定期演奏会をはじめ、医療法人葵鐘会(愛称:ベルネット)の支援・プロデュースによる特別演奏会など積極的な活動をしている。2005年より毎年開催している親子向けのファミリーコンサートは、楽団員自らが企画・演出をする音楽物語等、趣向を凝らした内容に定評がある。2015年から6年間に亘り新田ヨリを常任指揮者に迎え、北欧音楽の響きの探求に力を注いだ。2016年度名古屋芸術奨励賞受賞。2019年7月、日本-フィンランド外交樹立100周年を記念してフィンランドのリエクサとヘルシンキの2都市で公演を行い成功を収める。創立20周年となる2022年4月に山下一史が初代音楽監督に、2023年4月には権代敦彦が初代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。



《IKUSA》



城代悠子 YUKO KINOSHIRO

国立音楽大学卒業、卒業作品演奏会に選出され出品。中島良史、小山和彦、佐藤光俊の各氏に師事。東京国際芸術協会(TIAA)全日本作曲家コンクール入選、並びに受賞者演奏会に出品。かつしか作曲コンクール第3位受賞。国際芸術連盟主催「21世紀ピアノ音楽の領域」に出品。

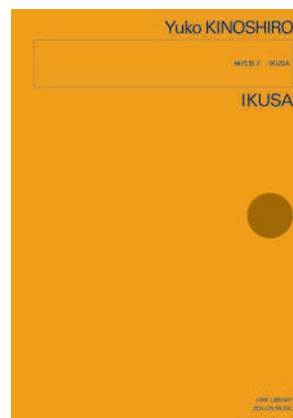
ジャンルはクラシック、ジャズ、ポップミュージック等幅広く制作しており、企業の動画BGM等多数制作してきた。

《IKUSA》 IKUSA

私の作品をこのような機会に選んでいただくことができ大変光栄です。とても嬉しい気持ちとともに、作曲家としてあらためて精進しなければと強く感じております。

この曲のタイトルは、人生における様々な困難との戦いや、時に自分自身との戦いであったり「IKUSA-いくさ」を表しています。そういった「IKUSA」に立ち向かう勇気やエネルギーが湧いてくる様な、力強い曲を制作したいという想いで作曲いたしました。

曲調はラヴェルなど近代クラシック作曲家の響きやパーカッションも多用し、現代の若い人達にも親しみやすい曲として制作いたしました。



原田慶太楼からのメッセージ

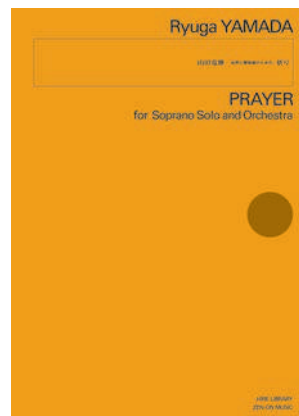
選考結果には僕が好きだった4曲全てが残ることになりとても嬉しかったです。その中から僕は城代悠子さんの《IKUSA》を振ることになりました。城代さんの作曲には幸せを運ぶハーモニーとメロディー、リズム・エネルギーがあります。聴いている方に楽しさとワクワク感を感じさせてくれる魔法使い。この作品を世界中のオーケストラに演奏してもらいたい。世界初演がとても楽しみです。

《祈り》～女声と管弦楽のための～

山田竜雅 RYUGA YAMADA

大阪府池田市出身。大阪府立豊島高等学校を経て、大阪音楽大学音楽学部音楽学科作曲専攻を卒業。大学卒業時に優秀賞を受賞。卒業作品『弦楽四重奏のための《古典組曲》』で同大学卒業演奏会に出演。作曲を高昌帥氏に師事。在学時より多くの作曲・編曲の依頼を受け、その編成はデュオやトリオなどの室内楽から吹奏楽まで多岐に渡る。作曲以外では小学生の頃にチューバを始め、中学校の吹奏楽部を経て、現在もアマチュアの吹奏楽団に所属し演奏を行なっている。

これまでの主な作品に、『バスコリの詩による歌曲集』、『Music for Brass Band』（英国式金管バンド編成による作品）、『《生命の躍動》～打楽器六重奏のための～』、『《祈り》～女声と管楽合奏のための～』（受賞作品の原曲）など。



《祈り》～女声と管弦楽のための～ “PRAYER” FOR SOPRANO SOLO AND ORCHESTRA

この度、拙作を受賞作品に選出していただきましたことを大変嬉しく感じると共に、未だに信じられない気持ちでいます。また、自作の管弦楽作品が実際に演奏されるのはこの演奏会が初めてですので、非常に楽しみでなりません。あらためて、指揮者のみなさま、そして当プロジェクトの関係者の方々に、この場を借りて心より感謝申し上げます。

曲は2部構成となっており、第1部では私が人間社会や人間そのものに対して抱いている不満や怒り、疑問、憂いを表現しています。そして第2部では、不条理な世の中を生きていく上での「音楽の尊さ」を讃えています。ソプラノの独唱によって歌われる詩は、私自身が編んだものです。音楽や詩の内容に、誰か1人でも共感していただけましたら幸いです。

山田和樹からのメッセージ

山田竜雅さんの作品は現代音楽の要素を多分に含みながらもスコアが大変に美しく、審査でページを捲りながら感じた『この作品を指揮できたら・・・』という想いが実現しとても嬉しいです。再演に恵まれる作品の共通点は、やはりスコアの美しさだと思います。この作品は女声ソリストが必要という点でも特別ですし、二つの楽団の合同演奏という意味でも一層気が引き締まります。初演を迎えるのがとても楽しみです。

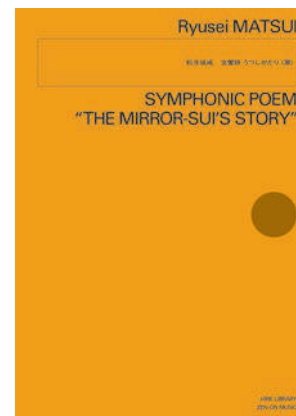
交響詩《うつしがたり〈翠〉》

松井琉成 RYUSEI MATSUI



©Hiromasa Ohtsuka

国立音楽大学作曲専修卒業。3歳で初めて作曲。現在は箏曲アンサンブルや室内楽、吹奏楽など様々な編成やジャンルの曲作りを行っている。国立音楽大学Wind Symphony Regular Concertにて、『SPARK』（2020年）、『ケルトナー・ストリートマーチ』（2022年）の2曲が公募入選曲として初演され、2021年には音楽大学オーケストラフェスティバル（ミューザ川崎）で同大学のファンファーレも担当している。幼少時はピアノやエレクトーンに熱中し、中学高校時代には吹奏楽部員として打楽器の演奏にも携わった。これまでにエレクトーンを西岡臣悟氏、松谷しのぶ氏、ドラムを榊孝仁氏、作曲を吉田峰明氏、菊池幸夫氏に師事。大学在学中に本作でNew Classic Projectに入選。



交響詩《うつしがたり〈翠〉》 SYMPHONIC POEM "THE MIRROR-SUI'S STORY"

入賞作品に選んでいただき、大変光栄です。「心に響くハーモニー」を大切にしてきた私にとって、このプロジェクトは何より心惹かれる賞で、とても嬉しいです。

この曲は、物が歩いたりあらゆる物がしゃべったりする不思議な別世界に急にたどり着いてしまった若者の物語です。鏡を通して眺めることのできる現実世界の悲惨な戦場の様子から目を背け、別世界での穏やかな生活を満喫する主人公・翠^{スイ}でしたが、やがて暗黒に支配されそうになる別世界と、あたたかな心を失いつつある現実世界の両者を救うべく、ありったけの力を振り絞って飛び続けて……。そんな自作のストーリーに基づいて書いた作品です。主人公が空を飛ぶ場面や、悲しい現実から目を逸らしてしまう場面など、曲を聴いた皆さんにそれぞれのシーンを思い浮かべていただけたら幸いです。

藤岡幸夫からのメッセージ

私が担当する松井琉成さんの交響詩《うつしがたり〈翠〉》はとても若々しく、華やかなオーケストレーションと豊かな旋律で、不思議な世界が目浮かぶような魅力的な作品です。松井さんには今後更なる大作の期待も持てるのでとても楽しみです！

《東京夜想曲》



萩森英明 HIDEAKI HAGINOMORI

東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。同大学で作曲を佐藤眞、福士則夫の各氏に師事。作品はこれまでに群馬交響楽団、東京交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、京都フィルハーモニー室内合奏団、琉球交響楽団、ハワイ交響楽団、ルーマニア国立放送交響楽団などによって演奏されている。特に琉球交響楽団に書き下ろした『沖縄交響歳時記』はレコード芸術誌特選盤に選ばれた。編曲家としての活動も多く、これまでに日本の主要なプロオーケストラのために数百曲のスコアを書くほか、「題名のない音楽会」「紅白歌合戦」等のTV番組の編曲など、活動は多岐にわたる。

日本作編曲家協会理事。洗足学園音楽大学非常勤講師。

《東京夜想曲》 TOKYO NOCTURNE

この度は作品をお選びいただき大変光栄に思います。この作品は、私の生まれ育った町、東京の夜を色彩豊かに描くことを意図し、作曲しました。

「夜想曲」というと、ショパンやジョン・フィールドのピアノ曲を想起させますが、そのような抒情的で瞑想的な作風とはあまり関連なく、むしろ、華やかで躍動的な音楽です。曲は東京の夜景を表した静かで曖昧な雰囲気が始まり(ビルの光の点滅、行き交う車など)、続いて、軽やかな曲調になり、活気のある街の様子を描きます。その後は、抒情的な部分、祝祭的な部分など、様々な曲想が即興的に展開し、常に変化し続ける東京の街を描いています。そして、最後はまた東京の夜景を遠くから眺めて、曲が閉じられます。

鈴木優人からのメッセージ

萩森英明さんはすでに各方面でご活躍ですが、それでもなお今回新しいコンセプトで、まさに「東京らしい」音楽を書いてくださいました。今から初演が楽しみでなりません。そして東京シティ・フィルと愛知室内オーケストラの出会いが、これから日本で何度も演奏されていくであろう4つの音楽との新しい出会いを生み出すというのは、この企画にふさわしい刺激的な交流になることでしょう。



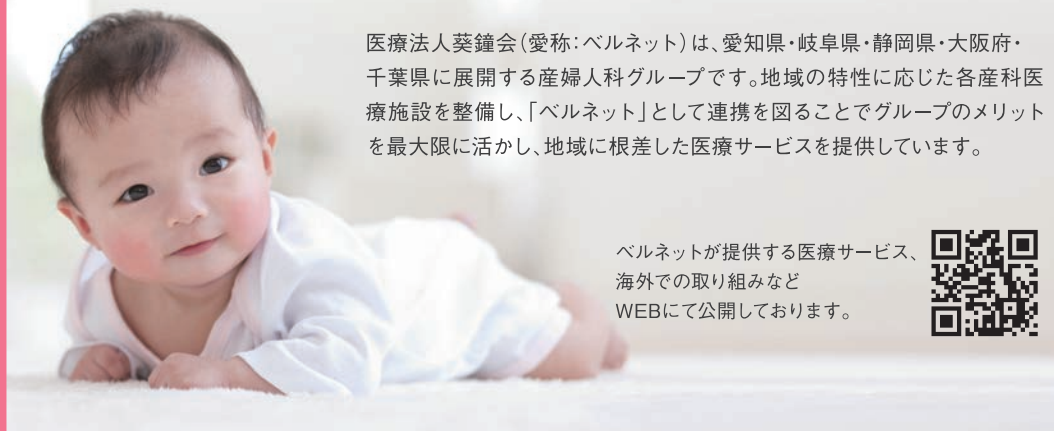
産婦人科グループ



医療法人 葵鐘会

きしょうかい

医療法人葵鐘会(愛称:ベルネット)は、愛知県・岐阜県・静岡県・大阪府・千葉県に展開する産婦人科グループです。地域の特性に応じた各産科医療施設を整備し、「ベルネット」として連携を図ることでグループのメリットを最大限に活かし、地域に根差した医療サービスを提供しています。



ベルネットが提供する医療サービス、海外での取り組みなどWEBにて公開しております。



ベルネットのクリニック一覧(協力医療機関含む)

愛知県(名古屋市内)

- キャッスルベルクリニック
- ロイヤルベルクリニック
- フォレストベルクリニック
- プリズムベルクリニック
- グレイスベルクリニック

愛知県(名古屋市外)

- セブンベルクリニック
- グリーンベルクリニック
- エンジェルベルホスピタル
- フェアリーベルクリニック
- オレンジベルクリニック
- パークベルクリニック
- リバーベルクリニック
- メイプルベルクリニック
- ピーチベルクリニック

岐阜県

- アルプスベルクリニック
- ローズベルクリニック
- アイリスベルクリニック

千葉県成田市

- リリーベルクリニック
- 大阪府堺市
- フラワーベルクリニック

静岡県掛川市

- 八神クリニック
- 神奈川県秦野市

2023年11月開院予定



ワイン&ダイニングリマージュ

愛知県名古屋市中区丸の内3-22-24 名古屋桜通ビル 1F

TEL 052-971-7772

予約受付/10:30~22:00 定休日/日曜日・祝日



愛知県名古屋市中区錦2丁目7-7
クラウドタワー名古屋錦1F

中国料理

瑞瓏 ZUIROU

予約専用
080-3634-3438
営業時間/17:30~22:00
定休日/水曜日または木曜日の不定休